

執筆者紹介 (掲載順)

ピーター・L・ヘイズ

米国防省で宇宙担当首席アドバイザーを支援しているファルコン・リサーチ宇宙政策上級分析員。宇宙に関する政策と戦略イニシアティブの策定と実施を支援している。ヘイズ博士はタフツ大学フレッチャースクールで博士号を取得、米空軍士官学校を卒業。ホワイトハウス科学技術政策局と国家宇宙評議会でインターンとして勤務し、米空軍士官学校、空軍大学上級航空戦力研究科、国防大学で教育に従事。現在ジョージ・ワシントン大学で教育に従事。主な著作に、*Toward a Theory of Spacepower*、*Space and Security*、*Spacepower for a New Millennium*、*Countering the Proliferation and Use of WMD*、*American Defense Policy* がある。

ジャン＝ダニエル・テステ

仏統合宇宙コマンド司令官。空軍准将。仏軍統合幕僚学校、上級指揮幕僚課程等を修了。国立電気電子情報流体通信工学院 (ENSEEIH) 修了 (コンピューター・サイエンス専攻)。これまで、主に光学偵察衛星「Helios」の開発や空軍参謀本部での宇宙・情報業務に従事するとともに、仏領ギアナ空軍司令官、航空作戦・防空作戦コマンド副司令官、軍事情報局副局長等を歴任。2014年7月より現職を務めている。レジオン・ドヌール勲章および国家功労勲章を受章。

グザヴィエ・パスコ

仏戦略研究財団 (FRS) 上級研究員。FRS にて「宇宙、高度技術と安全保障」プログラムを担当。1997年まではエコール・ポリテクニクの CREST (戦略と技術の関係に関する研究・評価センター) 研究員。これまで、主に仏国防省及び EU に関係する宇宙の安全保障利用に関する研究に従事。欧州議会の安全保障・防衛小委員会や EDA (欧州防衛機関)、ESA (欧州宇宙機関) の委託研究、特に ESA における欧州宇宙状況認識システムのガバナンスやデータポリシーに関する

研究を実施してきた。パリ・ソルボンヌ大学で博士号取得。米ジョージ・ワシントン大学宇宙政策研究所客員研究員を務め、仏軍事学校やパリ政治学院等でも講義。*Space Policy* 誌の欧州編集担当。2007年に欧州経済社会委員会の専門家に任命、2012年からは国際宇宙航行アカデミーの正会員。

辻野 照久(つじの てるひさ)

科学技術振興機構研究開発戦略センター特任フェロー。東北大学工学部電気工学科卒。日本国有鉄道を経て宇宙航空研究開発機構調査国際部勤務。2011年より科学技術振興機構、文部科学省科学技術・学術政策研究所を兼務。日本航空宇宙学会正会員。世界の宇宙開発動向調査、宇宙技術力比較、科学技術政策、月探査、宇宙デブリ観測施設(レーダ及び光学)などの調査研究に従事。

橋本 靖明(はしもと やすあき)

防衛省防衛研究所政策研究部長。金沢大学法文学部卒業(1983年)。慶應義塾大学にて法学修士(1987年)。オランダ政府給費生としてユトレヒト大学客員研究員(1995年)。ライデン大学(オランダ)より博士候補として認定(1996年)。富士通株式会社勤務(1988年)を経て防衛研究所入所(1993年)。助手、所員、主任研究官、研究調整官、研究室長等を経て現職。宇宙政策委員会委員(2013～2014年)、国際宇宙法学会理事(2013年～)等を歴任。宇宙法、サイバー法、安全保障等に関する調査研究に従事。

ブライアン・ウィーデン

米セキュアワールド財団技術アドバイザー。世界経済フォーラムのグローバル・アジェンダ・カウンシル宇宙部門のメンバーであり、前議長。研究対象は、宇宙ゴミ、グローバルな宇宙状況認識、宇宙交通管理、宇宙アセットの防護、宇宙ガバナンス。宇宙運用や宇宙政策に長年携わり、宇宙の安全保障、安定性、持続可能性に関する認識の向上、対話の促進を目的としたワークショップも多数開催。前職は米空軍士官で、宇宙と大陸弾道ミサイル(ICBM)の運用に9年間従事。

米戦略軍統合宇宙作戦センター（JSPOC）では軌道アナリスト訓練プログラムを指揮するとともに、宇宙状況認識の強化に向けた戦術・技術・手順を策定。クラークソン大学学士（電気工学）、ノース・ダコタ大学修士（宇宙研究）を経て、現在はジョージ・ワシントン大学博士候補（科学技術政策、公共政策・行政研究）。

青木 節子（あおき せつこ）

慶應義塾大学大学院法務研究科教授。慶應義塾大学法学部卒。カナダのマギル大学法学部附属航空宇宙法研究所博士課程修了。法学博士（D.C.L. 1993年）。立教大学助手、防衛大学校社会科学教室専任講師、助教授、慶應義塾大学総合政策学部助教授、教授を経て現職。宇宙政策委員会委員（2013年～）。国際宇宙法学会理事（2012年～）。専門は国際法、宇宙法。

ジョン・B・シェルドン

ソー・グループの社長兼会長。トリドン・グループの創設者兼オーナー。アトラティック・カウンシル客員上級研究員。前職は、米空軍大学上級航空宇宙研究科教授（宇宙・サイバーに関する戦略研究担当）。国家宇宙安全保障コースで教鞭をとるとともに、インテリジェンス・情報・サイバー空間コースを創設・統括。ジョージ・C・マーシャル研究所において統括研究員を歴任。現在も米国家安全保障会議、米国防長官室、米務省、同盟国政府のためコンサルタント業務に従事。元英国外交官であり、英ハル大学で学士号と修士号、英レディング大学で博士号（政治・国際関係）取得。ワシントン DC 在住。

中須賀 真一 (なかすか しんいち)

東京大学大学院教授。1983年東京大学工学部卒。1988年東京大学博士課程修了。工学博士。同年、日本アイ・ビー・エム東京基礎研究所入社。1990年より東京大学講師、助教授、アメリカ・メリーランド大学およびスタンフォード大学客員研究員を経て2004年より航空宇宙工学専攻教授。超小型人工衛星の設計・製作・運用、宇宙システムの知能化・自律化、革新的宇宙システム、宇宙機の航法誘導制御等に関する研究・教育に従事。超小型衛星7機の開発・打上げに成功し、2010～2014年には内閣府 First プログラムによる「通称ほどよし超小型衛星プロジェクト」リーダー。日本航空宇宙学会、SICE、IAA 等会員、IFAC 航空宇宙部会委員長および UNISEC-GLOBAL 委員長。2012年より宇宙政策委員会委員。